

Japan Quality Award  
Winner's Presentation 2011



2011年度  
日本経営品質賞 報告会

経験デザイン

～価値共感をめざした経験提供を～

日本経営品質賞のコンセプトは、  
お客様に喜ばれる価値を考え、  
組織の独自性を磨くことに役立ちます。  
経営革新を実現した受賞組織の発表を中心とした、  
この最大のイベントを、是非ともご活用ください！

以下の3組織が、2011年度日本経営品質賞を受賞しました。

(大規模部門受賞)

シスコシステムズ合同会社  
エンタープライズ&パブリックセクター事業  
代表者 代表執行役員社長 平井 康文 氏

(中小規模部門受賞)

医療法人財団献心会 川越胃腸病院  
代表者 理事長・院長 望月 智行 氏

株式会社ねぎしフードサービス  
代表者 代表取締役 根岸 榮治 氏

2012年2月23日(木)・24日(金)  
ロイヤルパークホテル(東京都・中央区)

主催:日本経営品質賞委員会

共催:経営品質協議会・公益財団法人 日本生産性本部

## 日本経営品質賞報告会：経営革新を実現するための“気づき”の場

1996年度の第1回以来、16回目の開催となります。1996年度の初めての日本経営品質賞報告会では、650名の皆様にお集まりいただきました。以来、経営品質向上をめざす皆様が集う、最大のイベントとして、のべ11,667名(平均777名)の皆様にご参加いただいています。

毎年、日本経営品質賞の受賞組織には、表彰セレモニーに引き続き、業界を超えて経営革新の参考となる独自性ある各組織の経営とその背景にある戦略や意図・考え方をご紹介します。また、昨年度、一昨年度の受賞組織にも、さらに組織力を高めるために取り組んだ活動についてご報告いただきます。この他、本年度も経営革新を実現するために有効なアプローチやツールについてご紹介するセッションを設けるなど、2日間を通して皆様の経営課題に対して何らかのヒントや気づきが得られる場となればと存じます。

ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 初めて経営品質に接する方もご参加しやすいプログラム



初めて経営品質という言葉に接する方々にも、本報告会を通してその内容をご理解頂けるようになっております。本報告会では、各組織のプレゼンテーション資料を収めた冊子に加え、最新年度の『日本経営品質賞アセスメント基準書』が配られます。また、本年度の受賞組織3組織それぞれの経営品質報告書(日本経営品質賞への申請書)の要約版が参加者に配られます。

その上で、1日目の最後に経営品質協議会 コミュニケーションセンター長 田村 氏より、経営品質についてわかりやすくご講演頂く予定です。

また、事務局にもお気軽にご質問やご要望を頂ければ幸いです。ぜひ、積極的にご参加いただくことで、本報告会へのご参加を、実りあるものにしていただければと存じます。

### 経営革新 実現に向けた効果的なアプローチ、ツール



本報告会2日目の分科会では、日本経営品質賞の受賞組織のベストプラクティス事例の紹介とともに、皆様の経営革新の実現を助ける効果的なアプローチやツールについて、実際にそれらを活用して経営革新に取り組む組織の方をお招きしてご講演頂きます。

組織のPDCAを確実に回し、改善を進める「マネジメント強化プログラム」を使って効果的に業務改善や業績改善を果たした組織の事例や、経営革新を実現する上で重要となる対話プロセスを革新し、創発型組織づくりにチャレンジした事例など、経営品質向上を進める上で、課題となりやすい点について、どのようなアプローチやツールを活用して打開していけばいいのかをご理解いただくことができます。

### 業種、業界を超え、“顧客価値”や“経営革新”を軸にした幅広い交流

業界内外の壁を超えた、推進ネットワークづくりにも、本報告会は多くの方にご活用頂いています。単に知識や情報を得ることにとどまらず、参加者同士による情報・意見交換は、本報告会にご参加される大きな目的にまできています。

懇親会はもとより、両日の休憩時間には、参加者間による情報交換や意見交換が至るところで行われています。

普段、同じ業界・業種では相談しづらい、意見交換しづらいことも、他業界、他業種の方々とであれば、気兼ねなく話すことができるかと思しますので、ぜひ積極的なコミュニケーションをとって頂ければと思います。

また、もちろん、「こういった方がいらっしゃればご紹介頂きたい」というご要望・ご希望がございましたら、事務局にご相談下さい。



## 経験デザイン

企業側が仕掛けた製品やサービスを、お客様が受け身的な立場で購入するという考え方に対して、お客様が主観的に製品やサービスを評価し、解釈したり感じ取ったりすることにポイントを置き、価値を見つめなおす、という考え方が、「経験デザイン」です。「経験価値」「意味的価値」「感性価値」などの言葉でも表現されています。同じ機能の製品でも、お客様の経験が異なる場合があります。より魅力的、心地よい、心が和む、楽しめる…など、お客様は、ご自分の経験から感じ取ります。お客様の経験全体がサービスであり、製品購入はその一部にすぎない、という考え方もつながります。

お客様はこの製品をどのような使い方をされるのだろうか。どのような環境で使用されるのだろうか。お客様は何を楽しみにこのサービスを受けられるのだろうか。よい経験づくりは、このような視点から始まります。

お客様の立場に立ち、経験を重視して価値を設計する「経験デザイン」が、今年の統一テーマです。

## 2011年度 日本経営品質賞 受賞組織

### <大規模部門受賞>

シスコシステムズ合同会社 エンタープライズ&パブリックセクター事業

代表者 代表執行役員社長 平井 康文 氏

#### <日本経営品質賞として評価されたポイント>

米国シスコシステムズの日本法人であるシスコシステムズエンタープライズ&パブリックセクター事業は、組織ビジョンと全体戦略、部門マネジメントの方向性を一致した取組みにするために、トップ中心に経営品質の考え方を実践している。顧客本位の柔軟なチーム体制と緻密で合理的な戦略展開により、わずか3年間で、業績のみならず顧客価値向上や組織革新において、卓越した成果に結び付けている。こうした活動成果が世界中のシスコ現地法人に採用され始めるなど、部門の革新を全体の革新に結びつける活動にも至っている。この取り組みは、特に大規模組織にとって、組織内の部門単位での経営品質向上活動活性化のベンチマーキング対象となる。



設立:1992年5月22日

本社所在地:東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー

資本金:4億5,000万円

従業員数:全社1,250名

(うちE&P事業部門222名・2011年4月現在)

### <中小規模部門受賞>

医療法人財団献心会 川越胃腸病院

代表者 理事長・院長 望月 智行 氏

#### <日本経営品質賞として評価されたポイント>

医療はサービスと早くから位置づけ、従業員の満足なくして患者様に高いサービスを提供することはできないと考え、従業員のやりがい、働き甲斐を出発点にした仕組みづくりを行ってきた結果、従業員満足が全国トップレベルとなるとともに、人が育って患者満足を生み出すサービス提供の繰り返しにより従業員の感性が磨かれ、サービスレベルは満足を超えて感動レベルにまで向上した。改善・革新は常態化している上、現状に満足することなく、新たな評価指標の活用や、外部機関を利用したプロセス改善の仕組みを構築している。従業員満足向上を起点に患者満足向上を実現していく変革の推進は、医療業界を超えて、組織開発の範となり得る。



設立:1969年8月

所在地:埼玉県川越市仙波町2-9-2

売上高:1,629百万円(2011年3月末)

従業員:114名(委託/派遣職員を含む。2011年10月末現在)

## 株式会社ねぎしフードサービス

代表者 代表取締役 根岸 榮治 氏

#### <日本経営品質賞として評価されたポイント>

都心集中出店(ドミナント戦略)で店舗数を増やし、ブランドイメージを確立することで、商圈のメインシェアを高めてきた。「ねぎしの5大商品」(クオリティ・サービス・クレンリネス・ホスピタリティ・アトモスフィア)を提供価値に掲げて顧客満足度を高め、固定顧客・ロイヤルカスタマーを増やし成長を遂げた。BSEなどのリスク、競合店の進出、ニーズの多様化などの環境変化に迅速に対応し、品揃えも増やしてきた。「人材共育」や自由闊達な組織風土づくりを重要視し、幹部からアルバイトまでが一体となり、対話による気づきを通じた自己革新のための取り組みを展開することで、外食産業全体が厳しい市場環境の中、着実な業績をあげている。



設立:1981年6月

本社所在地:東京都新宿区西新宿7-17-7

資本金:5,000万円

売上高:34億6,790万円(店舗数:26店舗、2010年度実績)

従業員:正社員80名 アルバイト600名(2011年4月末現在)

## 主な講演者

### < 基調講演 >

日本経営品質賞委員会 委員 / 一橋大学 名誉教授

野中 郁次郎 氏

早稲田大学政治経済学部卒業。富士電機製造（株）勤務ののち、カリフォルニア大学経営大学院（パークレー校）にて博士号（Ph.D）を取得。南山大学経営学部教授、防衛大学校教授、一橋大学商学部産業経営研究所長、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科長、一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授を経て現職。カリフォルニア大学（パークレー校）経営大学院ゼロックス知識学特別名誉教授、クレアモント大学大学院ドラッカー・スクール名誉スカラーを併任。知識創造理論を世界に広め、ナレッジマネジメントの権威で海外での講演も多数。



### < 受賞後の革新活動 >

株式会社 武蔵野（2002年度 及び 2010年度 日本経営品質賞 受賞）

代表取締役社長 小山 昇 氏

< 日本経営品質賞として評価されたポイント >

2000年度受賞時の「社長のトップダウン経営」から10年を経て、顧客の声を現場の価値創造に結び付けるため、過去の経験則よりも現場の事実を重視した「社員主体の自律的経営体制」に変革した。競争が激化する衛生用品レンタル業界において、同社ダスキン事業は堅実に成長するとともに、ダスキン事業での経験をもとにした経営サポート事業を、新たな経営の事業基盤として確立させた。永年にわたり、「守ること」と「変えること」を明確にした戦略、人材の採用・育成・登用が従業員中心の組織力を強化してきたことで、2つの事業における高い顧客満足度と社員満足度、そして極めて健全な財務状態の達成に結びついている。



株式会社 スーパーホテル（2009年度 日本経営品質賞 受賞）

代表取締役会長 山本 梁介 氏

< 日本経営品質賞として評価されたポイント >

低価格で顧客のニーズに応え、かつ、高い稼働率を実現するためのビジネスモデルが、日常業務にも根付いて確実にその成果を上げており、本部の各部署が協力し合いながら連携してその支援を行い、新たなサービスの開発とそのスピーディーな展開がローコストオペレーションの強化と両立して行われている。

さらに、「経営品質向上会議」によって、組織目標実現のための各部門の方向性の策定から進捗確認、見直しまでを各部門間の整合性を取りながら指標の改廃も含めて行い、業界No.1ホテルチェーンとして確固たるポジションを築き、高い顧客満足度や社員満足度、良好な財務結果などの成果に結びついている。



万協製薬 株式会社（2009年度 日本経営品質賞 受賞）

代表取締役社長 松浦 信男 氏

< 日本経営品質賞として評価されたポイント >

神戸市にて1960年創業、1995年の阪神淡路大震災に被災後、1996年に三重県で社長を含む3名で再創業。医薬品製造業界では先駆的な外用薬の受託製造をビジネスモデルと定め、「工場そのものが商品である」として、積極的な設備投資による顧客目線での生産能力強化と製造工程の近代化を進めた。あわせて、従業員の自律性と気づきを促す組織風土により、現場従業員が直接顧客と対話し協働で、製品の企画・開発・製造を行うプロセスを確立。厳しい経営環境の中、顧客層を広げ、高い顧客満足と社員満足、健全な財務状態を達成している。これまでの継続的革新の軌跡は、経営品質の考え方を実践した第二創業のモデルであり、中小規模製造業の経営革新や組織開発にヒントを与えてくれる。



## 日本経営品質賞とは

日本経営品質賞は、わが国企業が国際的に競争力のある経営構造へ質的転換をはかるため、顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織の表彰を目的として、(財)日本生産性本部が1995年12月に創設した表彰制度です。今までの16年間に190組織が申請し、本年度の受賞組織を含めてこれまでに30組織が受賞しております。

「日本経営品質賞」は、「日本経営品質賞アセスメント基準」に基づく審査において、経営革新を進めるモデルとしてふさわしいと認められた組織に対して、日本経営品質賞委員会から授与されます。

大規模部門と中小規模部門の両部門合わせて最大6組織まで、また地方自治体部門は最大2組織までを表彰します。



【わが国を代表する各界のリーダー8名によって構成される日本経営品質賞委員会】

名誉総裁：寛仁親王殿下

委員長：佐々木 元 氏(日本電気株式会社 特別顧問)

委員：有馬 利男 氏(富士ゼロックス株式会社 相談役特別顧問)

委員：飯塚 悦功 氏(東京大学大学院 工学系研究科 特任教授)

委員：佐野 尚見 氏(公益財団法人松下政経塾 理事長 兼 塾長)

委員：野中 郁次郎 氏(一橋大学 名誉教授)

委員：野中 ともよ 氏(特定非営利活動法人ガイア・イニシアティブ 代表理事)

委員：福川 伸次 氏(財団法人 機械産業記念事業財団 会長)

委員：山崎 彰三 氏(日本公認会計士協会 会長)

### 歴代受賞組織

年度	組織名(受賞当時の名称です)
1996年度	日本電気(株)半導体事業グループ
1997年度	アサヒビール(株) 千葉夷隅ゴルフクラブ
1998年度	(株)日本総合研究所 (株)吉田オリジナル
1999年度	(株)リコー 富士ゼロックス(株)第一中央販売本部
2000年度	日本アイ・ピー・エム(株)ゼネラルビジネス事業部 (株)武蔵野
2001年度	第一生命保険(相) セイコーエプソン(株)情報画像事業本部
2002年度	パイオニア(株)モバイルエンタテインメントカンパニー カルソニックハリソン(株) トヨタビスタ高知(株)
2003年度	NECフィールディング(株)
2004年度	千葉ゼロックス(株) (株)ホンダクリオ新神奈川
2005年度	トヨタ輸送(株) 松下電器産業(株)パナソニック オートモーティブシステムズ社 松下電器産業(株)松下ホームアプライアンス社エアコンデバイス事業部 (株)J・アート・レストランシステムズ
2006年度	福井キャノン事務機(株) 滝沢村役場
2007年度	福井県民生活協同組合
2008年度	該当なし
2009年度	(株)スーパーホテル 万協製菓(株)
2010年度	(株)武蔵野
2011年度	シスコシステムズ合同会社 エンタープライズ&パブリックセクター事業 医療法人財団献心会 川越胃腸病院 株式会社ねぎしフードサービス

## 2011年度日本経営品質賞報告会 プログラム

【1日目】 - 2月23日(木)		会場：3F「ロイヤル」	
9:30	表彰セレモニー	審査総括 日本経営品質賞委員会委員長 佐々木 元 日本経営品質賞 表彰 ご祝辞 経済産業省 経済産業政策局長 石黒 憲彦氏 ご挨拶 公益財団法人 日本生産性本部会長 牛尾 治朗 日本経営品質賞 経営革新奨励賞表彰* 各地域経営品質賞 受賞組織ご紹介	
	休憩		
10:40	基調講演「価値創造の経営」		日本経営品質賞委員会 委員 野中 郁次郎 (一橋大学名誉教授)
11:40	本報告会の位置づけと目的		(株)マーケティングプロモーションセンター 代表取締役 岡本 正耿 氏
11:55	2011年度受賞組織 紹介映像上映	株式会社ねぎしフードサービス シスコシステムズ合同会社 エンタープライズ&パブリックセクター事業 医療法人財団献心会 川越胃腸病院	
12:30	昼食		
13:30	受賞組織トップスピーチ 「100年企業への人財共育と風土づくり」		株式会社ねぎしフードサービス 代表取締役 根岸 榮治 氏
14:30	受賞組織トップスピーチ 「シスコシステムズにおけるビジネスフレームワーク」		シスコシステムズ合同会社 代表執行役員社長 平井 康文 氏
15:30	休憩		
15:50	受賞組織トップスピーチ 「健康経営のすすめ ひと満足の好循環スパイラルをまわす」		医療法人財団献心会 川越胃腸病院 理事長・院長 望月 智行 氏
16:50	受賞組織トップパネルディスカッション	シスコシステムズ合同会社 代表執行役員社長 平井 康文 氏 医療法人財団献心会 川越胃腸病院 理事長・院長 望月 智行 氏 株式会社ねぎしフードサービス 代表取締役 根岸 榮治 氏 【C】森岡情報化支援事務所 代表 森岡 亮一 氏	
17:50	経営品質 解体新書		経営品質協議会コミュニケーションセンター長 田村 均 氏
18:30	懇親会(～20:00)	会場：2F「有明」	参加費用別途

\* 2011年度 日本経営品質賞 経営革新奨励賞 受賞組織

広島ガス高田販売株式会社 (本社:広島県安芸高田市 / 主な事業:LP ガス製造販売)

トヨタ部品静岡共販株式会社 (本社:静岡県藤枝市 / 主な事業:自動車部品・用品販売)

2009年度より「日本経営品質賞」に加えて、同賞に至る2段階の賞を新たに設けております。

「経営革新推進賞」セルフアセスメントを積極的に用いた経営革新の実践活動が行われ、総合評価で一定レベルに達している

「経営革新奨励賞」セルフアセスメントを活用した経営革新活動に取り組みはじめ、総合評価で一定レベルに達している

【2日目】 - 2月24日(金)		
	A会場：3F「ロイヤル」	B会場：2F「春海」
09:00	受賞後の革新活動 (2009年度日本経営品質賞受賞組織)  株式会社スーパーホテル 会長 山本 梁介 氏 【C】(財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント 寺沢 俊哉 氏	「実効力ある経営」認証組織 トップディスカッション 「実効力ある経営」主任認証評価者 矢野 英治 氏 株式会社コーシステム 代表取締役 佐伯 里香 氏 株式会社神奈川建築職人会 代表取締役 小林 政道 氏 【C】「実効力ある経営」認証評価委員長 小笠原 泰 氏
10:00	(小休憩)	
10:10	受賞後の革新活動 (2009年度日本経営品質賞受賞組織)  万協製菓株式会社 代表取締役社長 松浦 信男 氏 製造部 生産管理課 リーダー 高島 久美 氏 【C】株式会社マネジメントイノベーション 代表取締役 坂本 崇 氏	「日本経営品質賞 申請までのプロセスと 審査員への道」  ~ 将来の申請と審査員活動に興味のある方へ ~  審査プロセス委員会委員長 森岡 亮一 氏
11:10	(小休憩)	
11:20	受賞後の革新活動 (2010年度日本経営品質賞受賞組織)  株式会社武蔵野 代表取締役 小山 昇 氏 【C】NECラーニング株式会社 エグゼクティブコンサルタント 水町 浩之 氏	対話プロセスの革新・創発型組織づくり ~ 「対話の基本」テキスト活用事例 ~  ヤンマー株式会社 農機事業本部 品質保証部 品質保証グループ 専任課長 足立 裕 氏 社会福祉法人 合掌苑 理事長 森 一成 氏 【C】(株)マーケティングプロモーションセンター 代表取締役 岡本 正耿 氏
3F「ロイヤル」		
12:20	昼 食	
13:10	受賞組織プラクティス紹介 「ビジネステクノロジー - 継続的な顧客価値向上に向けて - 」  シスコシステムズ合同会社 パブリックセクター事業 専務執行役員 大井川和彦 氏 エンタープライズ事業 専務執行役員 鈴木 和洋 氏 【C】森岡情報化支援事務所 代表 森岡 亮一 氏	
14:10	受賞組織プラクティス紹介 「理念を実現する組織風土づくり - E Sを起点とした好循環スパイラル - 」  医療法人財団献心会 川越胃腸病院 常務理事 須藤 秀一 氏 経営管理部長 三宅 憲治 氏 総務部長 小川 卓 氏 【C】NECラーニング株式会社 エグゼクティブコンサルタント 水町 浩之 氏	
15:10	休 憩	
15:30	受賞組織プラクティス紹介 「理念共有により実現した組織能力強化 - 人財共育・PDCA・ダイバーシティ - 」  株式会社ねぎしフードサービス 取締役総務部長 経営品質担当 相良 治美 氏 人財共育兼開発担当バイスマネージャー 石野 直樹 氏 秋葉原店店長 Fパートナープロジェクトリーダー 北川 尚之 氏 秋葉原店リーダー・Fパートナー 施 貞 氏 【C】インタラクティブ・アソシエイツ 代表 中田 和明 氏	
16:30	閉会挨拶 公益財団法人 日本生産性本部 理事・経営品質協議会 事務局長 角田 信之	

# 開催要領

**日時** 2012年2月23日(木)・24日(金)

**会場** ロイヤルパークホテル 3F 「ロイヤルホール」他

〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2丁目1番1号  
電話：03-3667-1111 FAX：03-3667-1115  
・東京メトロ半蔵門線「水天宮前駅」に直結(4番出口)  
・東京メトロ日比谷線・都営浅草線「人形町駅」より徒歩5分  
(日比谷線：A1出口、浅草線：A3出口)

**申込受付** 日本経営品質賞委員会ホームページ (<http://www.jqaward.org>) よりお申込み下さい。

<申込締切日> 2012年2月20日(月) 17:00 まで

- ・上記締切予定日に関わらず、お申込数が定員に達した場合は受付を締切らせていただきます。
- ・キャンセルのご連絡は、2012年2月20日(月)までにEメールまたはFAXにてご連絡下さい。  
これ以降はキャンセルの取り扱いは致しかねますので、代理出席等をご検討下さい。
- ・報告会当日の写真撮影・ビデオ撮影・録音等は固くお断りいたします。

## 参加費用

経営品質協議会会員* / 各地域経営品質協議会会員 経営品質協議会認定セルフアセッサー	52,500円
日本生産性本部 賛助会員 / 各地区生産性本部 賛助会員	84,000円
一般	98,700円

- ・上記金額は、2012年度アセスメント基準書、資料代、昼食代及び消費税を含み、懇親会費用(10,500円)は含みません。懇親会費用は、報告会終了後に請求書をお送り致します。
- ・2日間を通した参加費用です。部分参加申込はお受けしておりません。1日目と2日目で参加者を交代する場合は、お申込時にそれぞれの参加者氏名等をお知らせ下さい。

### \*【経営品質協議会会員制度】

2011年度経営品質協議会にご入会されると、よりご参加しやすくなります。詳細はお問い合わせください。

「情報会員」会費：15,750円(年間一律)

「準会員」会費：30,625円(月割：2012年2月～5月)

**お問合せ先** プログラム内容等の最新情報は、日本経営品質賞ホームページをご覧ください。

<http://www.jqaward.org>

日本経営品質賞委員会アドミニストレーション

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1 公益財団法人日本生産性本部内

TEL: 03-3409-2641 FAX: 03-3409-1167

- ・経営品質協議会における個人情報の取扱いについて
- 1. 申込によりご提供いただいた個人情報は、経営品質協議会の事務局を担当する(財)日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(財)日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(財)日本生産性本部ホームページ(<http://www.jpc-net.jp/>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の方様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただけますようお願いいたします。
- 2. 個人情報は、経営品質協議会および(財)日本生産性本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。但し、前述の場合および法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
- 3. 案内状や参加証、テキストの送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用することはありません。
- 4. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、経営品質協議会事務局(担当：与野、事業実施部門連絡先 03-3409-2641)または(財)日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口(03-3409-1112)までお問合せください。【責任者：個人情報保護管理者(総務部長)】
- 5. お申込書に個人情報を記入するかどうかはご本人の自由です。ただし、必要な個人情報が不足していた場合は、当本部からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
- 6. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。